

# 木 洩れ 日



7月

平成 19 年 7 月 20 日  
第 4 号  
北郷町立黒荷田小学校

## 1学期を終えるに当たって

今 井 悦 郎

1学期も残すところ後少しになりました。事故やけがもなく無事終了することができま  
す。これも皆様のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。ご協力ありがとうございました。

本年度 黒荷田小学校は、2名の新生をむかえて、全校児童12名でスタートしまし  
た。子どもたちには3つの合言葉をもたせています。一つ目は「明るく健康な子、進んで  
学びよく考える子、思いやりのある子」です。二つ目は、本校の伝統でもある言葉「向上  
無限」を、そして三つ目として「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の3つ  
です。どの子も意識化され、3つの合言葉が言え、がんばってくれています。

さて、本年度も町雇用の教科指導補助の先生が指導を行っております。町雇用の先生  
の採用のおかげで、各学年の主要教科の授業に関しては、学年別の指導がなされ複式指導  
から解放され、他の市町村の複式の学校に比べると大変恵まれています。

ところで、4月に行いました学力検査の結果が一部戻ってきました。偏差値では国語は  
平均51、算数は52で昨年より若干落ちてはいますが全国平均を上回ることができまし  
た。しかし、本校の児童の実態や指導体制とかを考えると、もっと学力が高くてよいと  
思われますので、教科の到達目標値を見直し、3学期には目標を達成できるよう努力し  
ているところです。

ここで、1学期の主な教育活動としては、6月には1週間北郷小学校との交流学習を  
実施しました。全校児童がそれぞれの学年に入り大きい集団での授業を受けました。小  
人数の本校にとって児童は大変よい経験となっています。その他、芋うえや交通教室、不  
審者対応避難訓練など1学期計画していたたくさんの行事を無事終えることができ充実  
した1学期でした。

さて、子どもにとって、何よりも楽しみな長い長い夏休みが始まります。子どもとよく  
話し合い、しっかりとした計画を是非立てていただくことをお願いします。無計画に過  
ごせば、子どもは自分にとって都合のよい過ごし方をします。有意義な夏休みにする  
ためには次のような点も取り入れて計画を作ってください。

家庭の一員として、手伝いを精一杯する。  
地域の行事等に積極的に参加して社会性を高める。  
1学期学習した事を忘れないために、宿題や復習をしっかりする。  
読書や観察、自然体験等の興味あることにじっくり取り組む。  
「早寝、早起き、朝ごはん」をしっかり守る。

この夏休みしか出来ないことがあります。この夏休みにできることを精一杯させてい  
ただき、子どもの成就感、達成感、存在感を是非味わわせてください。

9月3日には、きっとたくましく成長した子どもたちになって登校してくることだと思  
います。事故のない、思い出に残る充実した楽しい夏休みになりますよう、よろしくお願  
いいたします。

## 授業研究

6月末に授業研究が行われました。職員の教員としての資質向上のために学校では定期的に授業研究が行われます。

今回は、1年生の算数で行いました。

4月入学した子どもたちが、自分の考えを黒板に書き、その自分の意見を発表し、また他の人の意見を聞いてまちがいに気付き、修正をするということまでできるように成長した姿がみられました。

今後のすばらしい成長を感じさせる授業でした。



## シリーズ：家庭づくり その3 家庭におけるふれあい活動の推進

学力向上は子どもにとって家庭が心やすらぐ居場所になっているかどうかによっても影響してきます。

家族が温かい心のふれあいをもち、明るく楽しく過ごすように心がけることが大切です。そのための合い言葉は

**「ゆうしょくは、かんどう」** です。  
**「遊食話汗働」** と書きます。

### 【共遊】・・・「共に遊ぶ」

最近では、自然の中で遊ぶことが少なくなってきました。野外で遊ぶことをすすめて、自然の中に連れ出したりして、動植物や自然とふれあう楽しさに気付かせましょう。自然の中で遊ぶことで、驚きや感動を体験し、豊かな感性を育むとともに、自然や環境を大切にすることを身に付けます。

### 【共食】・・・「一緒に食事をする」

「同じ釜の飯を食う」という言葉があるように、家族一緒に食事をするによって、家族のふれあい、食事のマナーなど社会性を深めることにつながります。

### 【共話】・・・「一日の出来事を話し合う」

親子の間で会話を増やしていくことが、親子の絆を強くしていくことにつながります。日々の会話を増やすには、家族が共に食卓を囲み、その日のできごとを話題にしたり、家事やスポーツ、地域の活動などに家族で取り組むなど、共有体験の場を数多くつくったりすることが大切です。

### 【共汗】・・・「心地よい汗を流す」

親子で共に汗を流したり、友達と協力したりする活動に取り組むことで、連帯感が生まれ協力することの大切さや思いやりの心が育ってきます。

### 【共働】・・・「親子一緒に働く」

親子で奉仕活動等に積極的に参加しましょう。奉仕活動を通じて家族や周囲の人々、地域や社会のために何かをすることで、子どもたちは喜びを感じるという、人間としてごく自然な温かい感情がわき起こってきます。

## 夏休みの予定

- 7月24日(火)～・・・朝読み
- 7月25日(水)～・・・個人面談
- 7月29日(日)・・・親子レクレーション
- 7月30日(月)・・・食育講演会
- 8月1日(水)・・・全校での話、学級での話、そうじ
- 8月21日(火)・・・全校での話、学級での話、いもの草取り、水生生物調査
- 8月27日(水)～・・・スポーツ教室